

身近で被害者を支えてきた人からのメッセージ

何万回も生きたいと思う

私が支援の中で出会った女性の印象に残っている言葉があります。それは、この女性が28歳の時に私に語った言葉でした。「何万回も死にたいと思った。でもそれ以上に何万回も生きたいと思った。その気持ちの揺れと格闘しながら生きている。どうしたら、この苦痛が少しでも軽くなるのか、いつも闘っている。」

彼女は15歳の時に、父親からドライブに誘われ、ついていくと、「ちょっと休んでいこう」「何もしないよ」と言われて、ベッドに横にさせられ、強かんされました。彼女はそれをきっかけに家を出て、それからずっと1人で生きてきました。

彼女は今でもリストカット、大量服薬などの自傷行為を繰り返し、救急車で運ばれるようなことが続いています。

彼女がこの生きづらさから解放される方法がどうすれば見つかるのか、誰も答えを見いだせずにいます。

「DV被害における性暴力被害の実態」スタッフコラムより

本当のことを聞いて欲しい

右開き・横書き



被害実態の調査結果から全国女性シェルターネットワークが作成した支援者のためのマニュアル。チェック項目、緊急連絡先記入表付 全44頁 横書き

性暴力被害に遭った子どもたちのサポートマニュアル

DV家庭における
性暴力被害の実態

全国女性シェルターネットワークと婦人保護施設の全国一斉共同調査。専門家による解説、スタッフコラム付き 全100P 縦書き

この調査は、独立行政法人福祉医療機構の助成を得て実施しました。

左開き・縦書き



NPO法人 全国女性シェルターネットワーク